

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展で、新規感染者数の減少がみられるものの、来街者が増えている様子はない。店の売上も伸び悩んでいるなか、客からはワクチン接種の進展に期待する声が、多く聞かれる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比較すると、販売量は今月の方が良く、景気が上向いてきていると感じられる。新型コロナウイルスの新規陽性者数が減少傾向になると、当社の売上は少し上向く。しかし、新型コロナウイルス以前の2019年度と比較すると、売上達成度は3割前後で推移しており、依然として厳しい状態である。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・8月以降、緊急事態宣言発出が継続しているが、新型コロナウイルスの感染者数減少やワクチン接種率上昇とともに、徐々にではあるものの、来客数が増加傾向にある。これに伴い、売上も徐々に増加しつつある。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・10月1日からたばこが値上がりするため、まとめ買い等の客がいる。そのほかにも気温の高い日も続いたため、やや良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上103%、来客数96%、単価107%となっている。売上微増で推移するものの、夜時間帯の来客は戻らず、来客数は前年割れである。新型コロナウイルスの影響は大きい。リモートワークの浸透により、人の流れは大きく減少し、土日の観光客も減り、交通量が少なく感じる。
	○	家電量販店（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されれば、多少は販売に動きが出る。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除の見込みもあり、徐々にではあるものの来館者数が増えてきている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除の見込みで、少し先が見えつつある。しかし、従来までに戻るには程遠い。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗で、少しずつ客足が戻り、エステのオプションメニューや高額な化粧品購入が増え始めている。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・アフターコロナを見据えた居住場所等検討の動きが活発になっているようである。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月に入り、新型コロナウイルス感染者数は減少しているが、依然緊急事態宣言下でもあり、顧客の自粛傾向は継続している。一部富裕層による高額消費はあるものの、厳しい状況に変わりはない。
	□	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・来客数、客単価共に、ほぼ横ばいで推移している。緊急事態宣言が発出されても、以前のような変化はない。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上自体は前年比100%でも、来客数が93%と落ち込んでいる。その分客単価が上がっているが、客の減少が少し気になっている。新型コロナウイルスということも考えると、売上自体はまあまあだと思うが、不安要素もあるので変わらない。
	□	衣料品専門店（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染防止対策が発出されてから、2年が経過する。経済活動はなかなか元気が出ない状況であった。今になると、何か個人的な期待を持ちたいということなのか、自己アピールをするための商材の動きが出てきている。
	□	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・何か月前から相当悪い状態が続いたままである。特に、当店の顧客は高齢者がほとんどなので、緊急事態宣言下で自己防衛に走り、全くといってよいほど人出がない。景気ウォッチャーとして判断をできる材料が何もないほどひどい状況である。新型コロナウイルスのワクチン接種のお陰で、ある程度先が見えてくるのではないかという希望的観測を含めて、変わらない。

□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・当地域の自動車メーカーは、相変わらず半導体不足や新型コロナウイルス禍による労働生産性の落ち込み等により、生産体制は辛い状況となっている。これは当地域だけの話でなく、国内全体の自動車メーカーにもいえることではある。
□	自動車備品販売 店(経営者)	来客数の動き	・3か月前は販売量も人の動きもかなり低迷していた。現在は販売量はそれほど伸びていないものの、少しずつ客が顔を出してくれるようになってきている。努力次第で、販売量も伸びるのではないかと期待している。
□	住関連専門店 (店長)	競争相手の様子	・緊急事態宣言下で飲食業を中心に時短営業となり、廃業が増えている。
□	旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・今月末まで、当県並びに首都圏を始め各地で緊急事態宣言が発出されており、教育旅行を中心にほとんどの案件が中止に追い込まれている。秋の行楽シーズンに入り、週末や連休を中心に個人客の動きは見られるものの、限定的だと感じている。
□	タクシー(経営 者)	お客様の様子	・昼の動きがやや良かったので、前年同月比7%の増収である。ただし、2年前の同月と比べると35%減少している。
□	通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・量販店や携帯会社等では新型スマートフォンの販売による来客数増加はあるものの、実際の販売数には大きく影響がなく、厳しい状況が続いている。
□	通信会社(局 長)	来客数の動き	・販売量、来客数の動きに変動はないが、広告宣伝の要望が出てきている。
□	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・首都圏の緊急事態宣言が延長中のため、学生団体のほとんどがキャンセルになり、個人客も低調である。また、天候不順な日も多く、来園者が伸びない。
□	競輪場(職員)	来客数の動き	・8月末から緊急事態宣言が発出されたことにより、今月は無観客開催や場外発売中止となったため、来場者はいない。
□	設計事務所(所 長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種率はかなり上がってきているものの、緊急事態宣言発出の影響等もあり、まだしばらくは景気が上向くとは思えない。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルスのせいか、飲食店の撤収、閉鎖が目立ってきている。街なかをみても、貸店舗のシャッターが下りて、テナント募集の看板が目につく。アパート関係は、人の動きが止まっているようでほとんどない。同様に、土地の動きも停滞気味である。
□	その他住宅〔住 宅管理・リ フォーム〕(営 業)	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍により、在宅時間が増えたためか、家のちょっとした修繕の依頼が多い。しかし、リフォームと呼べるほどの規模の物は少ない。
▲	百貨店(店長)	販売量の動き	・一昨年同月と比べて、売上が2割近く落ちている。
▲	家電量販店(営 業担当)	販売量の動き	・前年はまだテレワーク商材が動いていた影響もあり、買物点数が多かったが、現状は前年比87%と苦戦している。
▲	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・自動車販売店だが、半導体不足の影響で、仮に契約しても納車ができないような状態である。キャンセルが相次いでいるので、これからしばらくの間、景気は良くない。
▲	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・現在、緊急事態宣言が発出されているので、来客数が圧倒的に少ない。それに比例して、販売量の動きや整備関係の入庫台数も減少しており、2～3か月前と比べて何もかも段々悪くなっている感じだが、このあたりが底ではないか。観光客は緊急事態宣言を無視しているのか分からないが、観光地には、ぼちぼち人が来ている。ただし、売店、レストラン、ドライブイン関係には全く客が入っていない。
▲	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しているが、来客数に伸びが見られない。一つの要因は降雨の多さによるものかと思うが、緊急事態宣言下というマインドが消費の停滞を招いている。

	▲	その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	来客数の動き	・この3か月、来客数は前年比80%が続いている。新型コロナウイルスの影響で、高齢者だけではなく若い世代の家族客でも動きがない。学校行事がストップしているのが、大きな原因になっている。10月の緊急事態宣言解除では、はっきりと線を引き、行動をしてもよいことを明示してほしい。
	▲	その他専門店 〔燃料〕(従業員)	販売量の動き	・受注が減少しており、非常に厳しい。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕(総務)	販売量の動き	・事業所給食部門の社員食堂等は、受託企業の夏休み等の影響も例年と変わらず、提供食数、売上共に変動は少ない。その一方、レストラン部門は緊急事態宣言期間延長の影響を大きく受け、前年と比較しても来客数が大きく減少し、売上が更に半減した店舗もある。
	▲	通信会社(総務担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言発出による外出自粛の影響がみられる。
	▲	その他サービス 〔自動車整備業〕(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍が浸透しているせいか、相変わらず財布のひもは固い。見積依頼だけの客も増えている。
	×	一般小売店〔青果〕(店長)	販売量の動き	・結婚式場、ホテル等の大口取引先が全面休業状態のため、大きく荷物を動かすことができない。
	×	家電量販店(店員)	販売量の動き	・好調な商材はパソコン本体のみで、他の商材群はほとんど前年割れである。前年同月比83%、前月比86%と消費の落ち込みが顕著である。
	×	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言発出中で人出は少なく、テイクアウトも以前とさほど変わらない。売上は大きく減少している
	×	一般レストラン〔居酒屋〕(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言発出中のため、休業している。居酒屋なのでアルコール提供停止の影響は多大である。
	×	都市型ホテル(経営者)	販売量の動き	・当県への緊急事態宣言発出により、飲食店や観光業への客の動きが止まり、新型コロナウイルス以前と比べて10%程度の売上となっている。もう限界である。
	×	都市型ホテル(総支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言発出の影響もあり、9月は前年と比べても売上が大幅に落ち込んでいる。
	×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・9月中は緊急事態宣言発出の影響で、団体旅行はゼロとなっている。カウンターに来店する個人客も数件で、全然採算ベースに乗らない。
	×	タクシー(役員)	それ以外	・国の新型コロナウイルス対策が余りにもレベルが低いことが悪くなっている原因である。
	×	ゴルフ練習場(経営者)	来客数の動き	・今回の緊急事態宣言で、できるだけ新型コロナウイルスを沈静化させたいという希望が客からも聞かれる。そのため、外出を控えているようである。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・大きな変動もなく、粛々と稼働している。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・売上目標3000万円に対して2100万円前後と、7割くらいである。
	□	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量はそこそこあるが、全ての部材が入手困難で、段々と物が作れなくなっている。当社だけでなくそこら中の会社がそうなる。大手の自動車メーカーでさえ、部材が足りなくて操業が止まっている。当社もそろそろ限界が近くなっている。納品できなければ売上はないので、危ない状況になる。
	□	輸送用機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先の様子について、7～8月はやや良いと感じていたが、9月は主要な取引先等で、若干落ちているようである。
	□	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・9月に入り、初回の冬物家電、こたつ、カーペット等の荷物量が増えている。また、新型コロナウイルスの影響による巣籠り生活での調理家電、電気圧力鍋、ホットプレート等の物量も増え、全体的には予定どおりの物量確保ができていく。しかし、前年比10%ダウンの物量で、燃料価格高騰も続いており、利幅は薄くなっている。

	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注は少なく、何も良くなってはいない。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	受注量や販売量の動き	・私どもの仕事は、業種的に必要に迫られて来る客ばかりなので、余り大きな変化はない。今年の9月は一般的には大変だったと思うが、それでも余り変わっていない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言下で、活動が抑制され影響が出始めてきている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・国内主要自動車メーカーの組立ラインの稼働停止の影響が色濃く出ている。関連メーカーの多くで休業日数を増やしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言期間延長により、管理物件の飲食店テナントが休業を延長している。清掃等の維持管理作業の再開も延期になったため、今月見込んでいた売上が減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	経営コンサルタント	それ以外	・緊急事態宣言期間延長の影響が大きく、飲食店等の営業自粛と時短等もあり、商店街や商業施設の人出はさっぱりである。地域の経済活動の沈下が甚大である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会保険労務士	取引先の様子	・緊急事態宣言が延長されて厳しい状況が続いているものの、製造業で半導体不足の影響のない事業所は元に戻っている。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来からの半導体不足に、ベトナムでのロックダウンにより海外からの調達部品が欠品し、完全に自動車生産が停止してしまっている。
	<input type="checkbox"/>	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。今期公共工事は前年比12%減で、当社受注も前期比10%減と厳しい状況である。
雇用 関連 (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・緊急事態宣言解除が決定されたので、飲食店全般に求人募集傾向がみられる。住宅、土木関連では職人募集が出ている。生産関係では、大手自動車メーカーの減産影響や材料等をなかなか調達できない中小企業等があるようで、工業団地の従業員が通勤する車も少な目である。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・周辺の会社経営者の方と話す機会があるが、「新型コロナウイルスの影響から、大きく改善してきているということはなく、いまだ不透明である」という意見が多い。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・派遣依頼が多くなり、採用数も上昇しているため、やや良くなっている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前年同月比では事務系の派遣依頼数が増加している。増加理由は業績向上による増員ではなく、退職者の補充が多い。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響等により求人が落ち込んでいたが、今年は回復傾向にある。産業別にみると、半導体需要が高まっている影響で、電子機器等の半導体原材料製造業や、災害復旧作業等の需要による電気機械器具製造業からの求人が多くみられている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言発出により、休業要請が出されている事業所及びその取引事業所からの、雇用調整助成金申請が増加している。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出が続くなかではあるが、経済は少しずつ前進しているように感じる。しかし、業界によっては求人がなく、相変わらず学生の就職活動は厳しい状況となっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	*	*	*